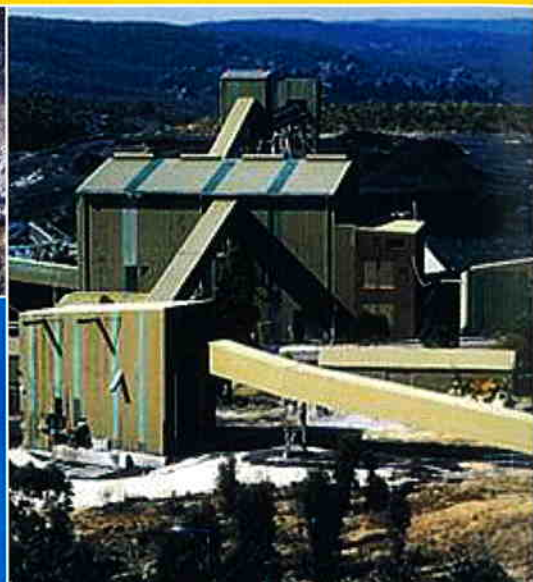
Shell Tactic EMV

"Shell Tactic EMV"は、正確で確実な給脂を可能

Shell Tactic EMVは、

生産性の向上（稼動時間の延長）

メンテナンスコストの削減

作業環境の安全性改善

をご提供します。

ベアリングは、グリース不足や、ゴミ・ホコリ・水の混入等、誤った給脂方法により、早期に損傷を受けます。ベアリングが壊れる原因として、グリース等の潤滑材不足によるものが30%以上、異物の混入によるものが20%以上にも上るといわれています。
これらベアリングの修繕コストや運転休止による生産低下は、多大なダメージを与えます。
Shell Tactic EMVは、これらトラブル削減に大きく貢献できるでしょう。

Shell Tactic EMVは、3つのユニットから構成されています。

※ユニット材質：ポリカーボネート

Shell Tactic EMVは、正確で確実な給脂を提供します。

●確実性アップとメンテナンスコストダウン

◇一定間隔で常にグリースを給脂し続けることで、水やホコリ等のコンタミを防止します。

◇グリース不足で起こるベアリングのトラブルによるメンテナンスコストを軽減します。

●手動給脂にかかるコストを軽減

◇頻繁に手動で給脂していることで発生する、コストを軽減できます。（定期的な点検・検査の継続は必要です）

●安全性の向上

◇手の届きにくい場所や、容易に近づけない場所にある給脂口でも、安全にグリースを供給できます。

●多目的用途に使用

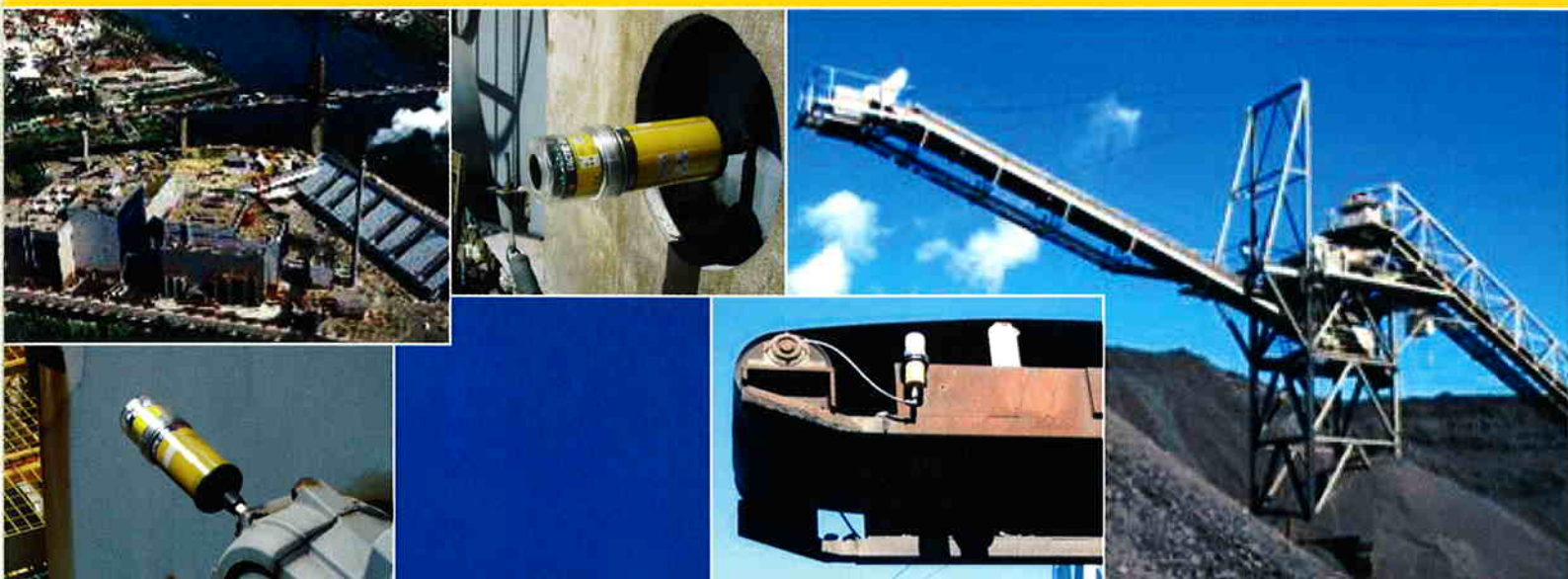
◇タイマーのセッティングは4種類可能。

◇グリースは、汎用性の高いウレア系耐熱・極圧グリース「シェル スタミナ EP2」

●点検が容易

◇内部が確認できる半透明のグリースユニット。

◇検査が容易な、赤と緑のシグナルランプ付

にする、可変タイマー付電動グリース給脂装置です。

Shell Tactic EMVは、常に最適グリース量を維持します。

手動による給脂の場合

給脂間隔が一定しないため、グリース不足や異物混入により、ベアリング損傷のトラブルが発生する危険性が高くなります。また、頻繁な手動での給脂や、危険で広域にあるベアリングへの給脂に要するコストも、負担になります。

Shell Tactic EMVによる給脂の場合

電動機械式の給脂システムにより、グリースを設定量、注入します。圧力をかける際、ガスに依らないため、ガスタイプとは異なり、幅広い運転温度範囲で、常に一定の給脂量を維持します。

Shell Tactic EMVは、ベアリングトラブルの危険性を低減するだけでなく、給脂作業を自動化により、コストの軽減にも貢献します。

*本図は、イメージ図であり、実際の使用状況とは異なります。

給脂期間	1日当たりの給脂量	タイマー設定
1カ月	8.2cm³/日	TIME VOLUME
3カ月	2.7cm³/日	TIME VOLUME
6カ月	1.4cm³/日	TIME VOLUME
12カ月	0.7cm³/日	TIME VOLUME

給脂間隔の設定

Shell Tactic EMVは、グリース給脂量を4種類に設定することができます。給脂間隔を調整できるため、比較的小さな電気モーターのベアリングから、大型機械の大きなベアリングまで、幅広い機械に対応可能です。

すばやく、簡単に装置の点検ができます。

Shell Tactic EMVの点検は肉眼で確認できますので、極めて簡単です。
グリース容器は透明ですので、残量が一目でわかり、また赤と緑のシグナルランプがShell Tactic EMVの作動状態を知らせてくれますので、点検のたびに取り外す必要はありません。

作動状況	シグナルランプ
始動時	赤 25秒
正常時	緑点滅 15秒毎
エラー時	赤点滅 8秒毎
グリース空状態	緑・赤点滅 3秒毎
グリース注入時	赤 1〜5秒

幅広い用途に実績のある、シェル スタミナ EP グリース 2

シェル スタミナ EP グリース2は高度に精製した高品質の鉱油をベースに、特殊ウレアを増ちょう剤とするグリースです。
厳選された極圧剤を含む各種添加剤を配合した高級極圧グリースで、高温高荷重で使用されるころがり軸受、すべり軸受等だけでなく、圧延のロールネック軸受や、熱間圧延等の水混入の恐れがある軸受等厳しい潤滑条件下で優れた性能を示します。

◎取扱説明書に従い、使用上の注意を守ってご使用ください。

昭和シェル石油株式会社

http://www.showa-shell.co.jp

ルブカスタマーサービスセンター 0120-064-315

Kahoo 2005.08.3000